



2015-16年度R.I.テーマ  
世界へのプレゼントになろう



関口 和夫会長

第2609回 例会  
2015. 10. 1 会長あいさつ

週報 No.2054  
発行 2015年 10月8日  
会長 関口 和夫  
幹事 藤村 作  
副会長 久保田 勲  
副幹事 樋口 雅之  
編集責任者  
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト  
国際ロータリー-第2770地区  
社会奉仕部門委員長  
大杉 能弘様

ビジターゲスト  
米山記念奨学生  
周 彬 (しゅう びん) 君

10月15日 ガバナー公式訪問  
地区ガバナー-井原實様  
10月22日 卓話2014-15年度  
青少年交換留学生  
島村江里香さん  
10月29日 内容変更 検討中

皆さん、こんにちは。本日も、ご出席ありがとうございます。  
第2770地区社会奉仕部門委員長の大杉能弘様ようこそお出で頂きありがとうございます。本日は、卓話よろしくお祈いします。米山奨学生の周君ようこそ。

今週は、9月25日の日曜日に上尾市スポーツ少年団の上尾ロータリークラブ杯争奪秋季ソフトボール近隣交流大会に出席しました。小学生女子のソフトボールチームで、上尾市は1チームの参加でした。北本、鴻巣のチームと総当たり戦で行われました。少子化の影響で上尾の団地周辺では、子供の数が減っているようです。子供たちの技術は保護者やコーチの方の熱意で、なかなかのものです。さわやかな時間を、過ごすことが出来ました。

K.R.ラビンドラン会長は今月のロータリーの友の中で「ポリオ撲滅の物語を語りましょう」と呼びかけています。ナイジェリアが野生型ポリオの無発症期間が1年を経過して、ポリオ常在国から除外されました。会長は「ポリオとの闘い」として始まったものですが、憎悪、無知、恐怖と向き合う私たちの闘いであり、勝たなければならぬ闘いです。勝利は間近に迫っています。その勝利は、義肢や鉄の肺、そしてポリオのある世界をすることもない子供や孫に話すべき、ロータリーの物語となるでしょうと語っています。ロータリアンであることが物語の登場人物であり、自分自身が成し得たことこそ、真に語り伝えることができるのです。いつの日か、誇りとともに語ることでできる素晴らしい物語を、皆さんで一つひとつ紡いでいきましょうと呼び掛かっています。あと、少しです。

さて今月は、経済と地域社会の発展月間と米山月間の一回目です。経済と地域社会の発展に貢献する方法として、マイクロクレジット(小口融資)について説明したいと思います。グローバル補助金を利用し、発展途上の地域で地元の小口融資機関と提携して、融資システムを改善します。地元で資金を管理していけるようになります。また、小口融資機関とモバイル・バンキング(携帯電話を利用した銀行取引)の開発を推進します。携帯電話を利用して預金や送金が出来れば発展途上の地域社会で銀行利用者を増やすことが出来ます。現地物産を

Rotary AGEO ROTARY CLUB

調達することにより、経済の活性化と送料の節約が出来ます。RIによれば、世界で1億9千万人がマイクロクレジットを利用しています。マイクロクレジットを利用して裁縫やパン作りのスキル研修を行って女性の自立支援を行ったエクアドルの事例が紹介されています。また、雇用機会を作る事や、起業の支援を行うことも行われています。この様に財団の補助金を利用した事業が、経済と地域社会の発展に貢献することが出来ます。皆さんも、ロータリー財団への寄付をお願いします。以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。

米山奨学会功労者表彰

関口和夫会長 久保田勲副会長 藤村 作幹事



米山記念奨学生 周 彬 君

幹事報告

藤村 作幹事

◆今月のロータリーレートは1ドル=120円です。  
◆上尾西クラブ、上尾北クラブとの合同例会ですが11月25日(水)、東武パンケットホール・フロアで行います。当クラブがホストクラブになりました。詳細はまた追ってお伝えしますが、大塚パスタガバナーや島村市長、大岡ガバナー補佐、大貫ガバナーノミニーにお話を伺うことになっています。少々時間延長で、1時間半ほどの合同例会になります。  
◆財団ニュースからですが、関口会長が先程仰ったように、ポリオ撲滅についてナイジェリアがなくなり、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなったとあります。  
◆また財団ニュースでは2017-18年度のRI会長がイアン H.S.ライズリー氏(サンドリンガム・ロータリークラブ、オーストラリア)に決まったとあります。  
◆来年度、財団が創設100年ということではいろいろなお話が、皆さんにご協力をお願いすることがあります。よろしくお祈いいたします。

ロータリー米山記念奨学金授与



例会主題 会員卓話

地区社会奉仕部門委員長 大杉 能弘様

本日は卓話のお時間を頂きまして誠に有り難うございます。本年度、社会奉仕部門委員長を拝命しております、川口北RCの大杉と申します。

卓話の要請を頂き、当初の議題は「経済と地域社会の発展について」との内容にてお話をと云われたのでありますが、職業奉仕部門の担当になるのではないかと、思いまして、我が部門の先輩であります尾花直前委員長にご相談申し上げました所、テーマを「地域社会の発展と社会奉仕」と云う事で、お話をさせて頂く事となりました。

例年ですと10月は職業奉仕、米山月間になりますが、本年度は、月間が大きく変わりまして、「経済と地域社会の発展月間」と云う様になりましたが、私にお声が掛りましたので社会奉仕部門としての取り組みなどをお話させていただきます。



Rotary AGEO ROTARY CLUB

卓話の内容と致しましては実際に体験してきた事とお祈いとを合わせた話になります。9月26日~27日にかけて、社会奉仕部門として、東北支援で、第2520地区に打ち合わせと、確認に行ってきました。宮城県、関上地区の現状、岩沼地区の東日本震災復興基金日本委員会の協力事業として、岩沼メロン再栽培、ビニールハウスの支援、(浦和東RC協賛事業)、塩竈港のフェリー、なのばな丸の運行状況、石巻の現状と、大川小学校にて被災された生徒と先生方に線香を手向けさせて頂きました。

私ども、社会奉仕部門には「地域社会奉仕委員会とプライダル委員会」があります。地域社会奉仕委員会の活動と致しまして、先ほど、お話をさせて頂きましたが、4年半前のあの、忌まわしい東日本大震災が発生して、未だ復興がままならない今日であります、「風化させてはいけない震災復興支援」と云う、その取り組みを継続しております。

しかし、9月8日に台風18号の影響による「関東、東北豪雨災害」が発生してしまいました。利根川決壊を、テレビで見ると映像は、4年前の津波の被害の様子と全く変わることのない、余りにも、悲惨な姿でありました。残念ながら、多くの命が犠牲になってしまいました。犠牲になられた方々に、心からのご冥福をお祈り申し上げます。そして、続いて九州の阿蘇山の噴火であります。何時、何が起きるか分かりませんが、でも、もしもの時は、自分で自分を守らなくてはなりませんので、普段の、防災訓練と地域社会が一体となつての緊急時の取り組みが如何に、大切であるかという事を教えられる様であります。

此度の、関東、東北豪雨災害に於いても、その、復旧は大変な時間と支援が要する事になると思います。地区といたしまして、昨年の、広島土砂災害でお願い致しました様に、此の度の豪雨被害に対しまして、支援も会員、皆様にご協力をお願いをさせて頂きました。誠に有り難うございます。集計が出来たら又、そのご報告をさせて頂きます。

実は本年の4月19日~20日に宮城、岩手県の地域になります。第2520地区の地区大会に参加させて頂きました。直前、濱野ガバナー年度風化させてはいけない東日本震災復興支援の一環として、当、クラブ会員であり、時の尾花部門委員長率いる地域社会奉仕委員会のメンバー5名で第2520地区、地区大会参加と、実際に現地がどの様な状況かを確認に行ってきました。皆様ご存知のように2019年に日本で開催される「ラグビー、ワールド・カップ」開催地が、私ども埼玉県、熊谷で

も決定されておりますが、震災被災地であり、岩手県釜石市も、開催都市に決定されました。ラグビーワールドカップは、サッカーワールドカップ、そして、夏のオリンピックに次ぐ規模の世界的なスポーツイベントであります。そして、今年度、9月18日~10月31日迄、イングランドで開催されるラグビーワールドカップに釜石の少年たちをラグビー観戦に、派遣する事が決定し、そこに協力しましょうという事になり、派遣の為の資金作りとして、我が地区の地区大会で、社会奉仕部門、尾花部門委員長の下「東日本震災復興支援」の為の物産展を開催させて頂き、皆様には多大なご協力を頂きました。その売り上金の一部より、イングランド派遣、費用の一部として第2520地区、地区大会に濱野ガバナーと共に尾花社会奉仕部門委員長、共々お届けに伺わせていただきました。我が地区の、地区大会での物産展にご協力頂いた多くの会員の皆様に感謝を申し上げます。そして、イングランドでの、ラグビー、ワールド大会では、既に皆様もテレビや、新聞の報道でご存知のように、南アフリカを破る大金星を挙げた事が出来たので、2019年の日本開催は大変な期待が高まる事と思えます。楽しみです。

別の角度から「ラグビーワールドカップ開催」に応援している地元の方々の姿を見る事が出来ました。あの震災の津波によって危うく一命を、落とすところ助かる事が出来ました、同釜石市の鶴住居地区の旅館「宝来館」の岩崎女将が中心となって2019年「ラグビーワールドカップ開催に合わせて」ブドウを栽培し、そのワインを観戦に訪れた方々やブドウの苗の栽培に、資金協力をして頂いた方々にワインのプレゼントを行うというプロジェクトを計画されて居る事を知りました。

我が地区でも、そのプロジェクトを応援すべく地域社会奉仕委員会が本年、8月1日開催の奉仕プロジェクト部門セミナーの冊子資料として、P32~P35に、ボンクラージュ東北「ワインで乾杯プロジェクト」へ支援入会をお願いとして掲載してありますので是非、ご一読頂きご協力をお願い出来ればと思います。東日本大震災で甚大な被害を受けた三陸地方で、ブドウの苗を共に植え、共に育て、共に収穫したブドウで、ワインを造ることで復興への活力を生み出した「宝来館」の岩崎昭子女将の行動こそ、正に「地域社会の発展と社会奉仕」の実践をされている、その姿を目の当たりにしてきました。尾花部門委員長はじめ、私を含め参加された仲間がその行動に感動し是非、応援をさせて頂こうと決意をした次第であります。一人の力は小さくても大勢の人たちが力

を含めて、津波で被災した学校の跡地に1万5000席もの、仮設スタンドを備えたW杯仕様のスタジアムの建設の為、惜しみない努力をされて居る事に対して、私達にも出来る事を協力させて頂きたいと思えます。皆様にも是非、応援をして下さる様お祈いを申し上げます。

まだまだ、東日本震災復興には大変な年月と、莫大な費用が掛かると思えますが是非、皆様に於かれましては、様々な掛かるとの復興の為に、支援活動をお願いを申し上げます。地区、社会奉仕部門と致しまして、10月24日~25日「第2770地区ロータリーフェスタ」inワールド・フランスさいたまクリテリウム開催に当たり25日、浦和パルコ前広場で物産展を開催致しますので、是非足を運び頂ければと思います。又、本年も11月の地区大会に於きまして、「東日本震災復興支援」の為の、物産展などの催しも、企画させて頂きますのでご協力をお願い致します。

さて、2015年~16年度井原實ガバナーから、地域社会奉仕委員会に対して「認知症サポーター」についての取り組みを、提案されました。当、上尾RC様にも、「認知症サポーター養成講座」の受講の申し込みを頂いておりますが、私達、社会奉仕部門、地域社会奉仕委員会として取り組みに当たり、本年、4月7日井原ガバナーの職場であります、与野フードセンター体育館に於きまして、「認知症サポーター養成講座、講習会」に委員会が率先して、受講の参加をさせて頂きました。此の、講習会は90分の受講によりまして受講された方々に、サポーター証明書とオレンジバンドを授与されます。此のオレンジバンドを、身につけている方は認知症の方のサポートができる方であるとの証明になります。

実際に受講して見ますと、認知症の方に対する対応の仕方が大事か理解できました。そして、受講して分かったのは、如何に認知症の進行を遅らせることが必要な事も理解できました。「音楽療法による認知症予防体操」寸劇を活用して認知症の理解を深める」ことなど

を含め、そして、この取り組みに対し、埼玉県としても非常に力を入れて取り組んでいる事も分かりました。当クラブ、尾花会員も事業の一環として高齢者の為の、福祉事業に取り組みをさせて頂いておりますので専門的な事はご指導頂ければと思います。

又、地区プライダル委員会に於きましては今年度がプライダル委員会創設30年になります。今まで115組のご成婚がありまして、是非、若い年齢の方のプライダル委員会、会員登録をお願い申し上げます。毎月第二土曜日午後1時より浦和の、ロイヤルパインズホテルに於きまして、相談会を開催しておりますのでご会員皆様のご子息、御令嬢様の登録を宜しくお願い致します。

更に、継続事業の取り組みと致しまして、埼玉県警・アイバンク賛助会員登録と献眼登録のお願いも更に推進してまいりますので今年度もご協力の程、宜しくお願い申し上げます。地域社会の発展には、私たち職業人が事業を通して、地域活性化の為に、一人でも多くの方の参加を取り、更に奉仕を通じて社会に貢献できる多くの事に取り組んで行く事こそが大切ではないかと思えます。それには、先ず、沢山の仲間づくりも行わなくてはなりません。此の地域を代表する、上尾ロータリークラブ様を中心として、地域発展の為に更なるご尽力を賜ります様お願い申し上げます。

本日は、国際ロータリー、第2520地区、地区大会参加と被災地で学んだ事、並びに高齢化社会に向けて地域社会に役立つ事を願う活動としての「認知症サポーター」養成講座受講と、埼玉県警・アイバンクへの登録を合わせてのお願いのお話をさせて頂きました。上手くお伝えする事が出来たか分かりませんが、奉仕プロジェクト部門セミナー資料のご活用も併せて、ご清聴頂きました事に感謝を申し上げますと共に例会の、大変貴重なお時間を頂戴しました事に衷心より、感謝と御礼を申し上げ卓話を終わらせて頂きます。本日は、誠に有り難うございました。 感謝

スマイル

- 大杉能弘地区社会奉仕部門委員長  
関口会長/久保田副会長/藤村幹事/樋口副幹事/重武会長/岡野会員/  
大塚部長/富永会員/井上会員/村岡会員/尾花会員/大木会員/  
大塚崇行会員/島村会員/齋藤博重会員/齋藤智雄会員/須田会員/  
野瀬会員/長沼会員/北村会員/門崎会員

出席率			
出席 会員数	37	出席数	23
欠席 欠席数	14	(%)	62.16
前々回確定		欠席数	3
修正(%)	91.89	(M・U)	13

